

竹川病院 奥山 実由紀 (薬剤師 科長)

- 功 績 病棟における週末の注射薬の管理について、高い安全性を重視しながら簡易的な保管方法を提案し、看護部の業務効率に貢献した
- 推 薦 者 飯澤 若子
- 推 薦 理 由 薬剤師としての知識と技術、そして経験値を発揮し、病棟における週末の注射薬の管理について、高い安全性を重視しながら簡易的な保管方法を提案し、看護部の業務効率に貢献した

内 容

昨年9月、神奈川県某の病院で発生した点滴に異物が混入された事件をキッカケに、当院では、注射薬の保管についてこれまで以上に厳重な管理が検討されました。その改善策を提案したのが今回推薦させていただく薬剤師の奥山です。

当院では、管理上、翌日分のみを病棟に納品しています。しかし、週末は薬剤師が不在のため土曜から月曜までの3日分となり、保管については看護師が細心の注意を払っていたことから、当初は、看護部の改善策として検討されました。しかしどの案も、安全は確保できても看護師の追加業務が発生し効率的ではありませんでした。

そんな中、奥山が、薬局の業務を変更することで、問題を解決できる方法を提案。

内容は、週末の注射薬を鍵のかかる1F会議室に納品し、使用する際、看護師が事務職員立会いのもと取り出すという単純なものでした。

しかしこれにより、保管上の安全性確保と、広いスペースを活用したことによる取り間違いの防止、また、看護師が注射薬に注意し続けるというストレスから解消され、患者さんに意識を集中することができるようになりました。

この方法は、年末年始やGWの長い休日にも展開され、現在は当院のスタンダードになっています。

奥山の目標は、医療職に積極的にアプローチできる薬局を作ることだそうで、入職1年目にしてすでにその一歩を踏み出しました。

他職種との積極的な関わりの中で、薬剤師として力を提供しようとする姿に対し、理事長賞に推薦させていただきます。